

特集

自然災害に備える

日本で長年生活していると、地震による揺れを何度か体験します。また毎年のように大雨や台風の被害が発生し、各地の状況について報道番組やSNS等を通じて見聞きする機会もあります。日本で暮らす多くの人々が自然災害と向き合わざるを得ない状況にあります。

「災害の心理学」と聞くと、被災後の心のケアがぱっと思い浮かびやすいかもしれませんが、今回の特集では「被災前の備え」に焦点を当てています。これまでの自他の被災経験をいま現在の備えにつなげている方々もいることでしょう。たとえば、年に一度は学校や職場で避難訓練に参加する、避難場所やルートを家族であらかじめ共有しておく、防災リュックの中身を検討し日常的に保存食の備蓄を意識する……。

今後また発生し得る“いつか”を見据え、私たち一人ひとりがそれぞれの立場でいまからどう備えるか。4名の先生方の活動を通じて、ご一緒に手がかりを探ってみませんか？

(山崎真理子)